

医療従事者が『深く息をするたびに』で読書会をするのなら

1. 「はじめに」(iii 頁)で、イリー先生は「私は誓いを破って、患者の医療における物語、つまり人生そのものにおける患者の声を奪っていたのだ」と書いています。最初読んだとき、どのように理解しましたか？ またそれは医療従事者であることとどのように関係しますか？
2. 本書によれば、医療従事者と患者の関係が患者の回復にどのような影響を与えるでしょうか？ また、それはあなたをどのように変えうるものですか？
3. イリー先生は医学生時代、「暑い南部に250年前に建てられた、貧しい人々に医療を提供する避難所」ことチャリティー病院で、自分は天職を見つけたと確信しました(3頁)。あなた自身の医療従事者としての経験を振り返って、どのように感じますか？ 医療職が転職だとあなたが気付いたのはいつのことですか？
4. 「ICUの医師が最も重視すべきなのは、命を救うことだろうか？」とあります(47頁)。最新のICU技術を駆使したテレサ・マーティンへの治療(10-13頁)と、チャリティー病院のボロボロの金属製ベッドでおこなったサラ・ボリッチへの治療(7-10頁)を比べてみてください。この二人の転帰を、「成功」か「失敗」かという観点から、一般的な医師ならどのように考えるか話してください。医療チームの他のメンバーは、これら二通りの転帰をどのように考えるのでしょうか？ あなたは、自分の患者を治療するときに、成功と失敗をどのように定義していますか？
5. イリー先生は、研修期間中に担当した入院患者全員について紙のインデックスカードに記録していました。亡くなった患者のカードを再び見ることがいかにつらいか、私達にも伝わります(67頁)。この「カードの2つの山」(生者/死者)は、当時彼が没頭していた集中治療の文化をどのように反映しているのでしょうか。今日の私たち自身の医療文化と比較してどうですか？
6. 移植医療に携わる中で、イリー先生の医師としてのあり方、患者への接し方のどちらも変化しました。なぜ、変化したのでしょうか？ 移植患者であるマーカス・コブとダニー・ウェストは、イリー先生の考えの中でどのように位置づけられるのでしょうか？ 「ようやく、人全体を視ることができたのだ。」(98頁)とイリー先生が述べた意味について考えてください。このような変化が、あなた自身のキャリアの中でも起こったことはありますか？
7. 研修期間中、イリー先生は患者とプロフェッショナルな精神的距離を取るように教わっていました。これはウィリアム・オスラー医師が Aequanimitas(ラテン語:平静の心)(100頁)あるいは equanimity(平常心を保つ、安定した、悩みのない状態)と呼んだことで有名な考え方です。本書では、イリー先生が患者に対してとんとん心を開いていく様子が描かれています。あなた自身は、患者との関わり方、医療行為につ

いてどのように考えていますか。あなたの経験では、精神的な距離を保つことは、あなたと患者にどのような影響を与えていますか？

8. Chapter 6 では、イリー先生の娘が頭部外傷を負い、神経 ICU に入院したエピソードが書かれています。この経験から、イリー先生は何を学んだのでしょうか？ イリー先生は自分自身が医師として患者を失望させてきたと確信したのはどうしてでしょうか？ 患者が医師に求めているもので、イリー先生が提供してこなかったものは何だったのでしょうか？「ベッドの左側(患者家族側)」で過ごしたことがない医療従事者に、イリー先生の発見を共有して患者の経験を改善するためには、どうすればよいのでしょうか？
9. 認識的不正義とは何でしょう？ ノイ夫妻のために通訳が見つけれなかったことで、妻がまさに死に向かっている夫のノイ氏の苦悩をイリー先生はどのように増幅させてしまったのでしょうか(164 頁)？ 本書の中に出てくる認識的不正義の他の例や、あなた自身の経験を話してください。ABCDEF(A2F)バンドルや ICU 離脱を、医療に人間性をもたらすケアの哲学と実践として構築することで、そのような不公正に対処する方法を話し合ってください。
10. イリー先生たちは A2F バンドルを世界中の ICU に広めています。ICU 看護師メアリー・アン・バーンズ=ダリー(ジェット)は言います。「死亡率が減少すると説明しても、看護師たちにはあまり意味がありません。患者の物語を伝えなければなりません」(246 頁)。なぜストーリーが A2F バンドルを広めるのに有効なのでしょう？ 医療における物語の力に関して、あなた自身が経験したことを話してください。A2F バンドルのコンプライアンスを高めるために、実際にあったことや実際の人物の話をするのをどう思いますか？
11. イリー先生が繰り返し述べているのは、「患者のなかに人格を見つけること」と言えるでしょう。ICU を「脱人格化室」にしないために、医療従事者としてあなたに何ができるのでしょうか？「患者中心のケア」ではない、「人中心のケア」とはどういう意味だと思いますか？
12. 患者のもっとも大切な人(たとえば家族)が、医療チームにとって迷惑な存在から不可欠なメンバー(A2F バンドルの F[家族])へとどのように変化したのでしょうか？ 家族はどのようにすれば大切な人の役に立てるのでしょうか？ 医療チームにとってはどうでしょう？ 証言的不正義(249 頁)とは何で、それはここでどう当てはまるのでしょうか？
13. 新型コロナによる長期後遺症を抱える患者のニーズや問題が、PICS に悩む患者とどのように似通っているか話してください。どのようにすれば、患者は自分が見られている、聞かれていると感じられるのでしょうか？ ICU サバイバーへの診療から得られた教訓(ICU 退院後外来など)を、どのようにロング COVID に活かすことができるのでしょうか？
14. イリー先生は、一時的に生活の場から引き離された患者を全人的に診るために、「上流因子」(297 頁)を意識するよう心がけています。新型コロナの際にベッドに手錠

で拘束された囚人患者ジミー・ジョンソン氏の物語を読み直してみてください(318 頁)。健康の社会的決定要因によって、患者の医療へのアクセスがどのように影響されるかを考えてみてください。医療における社会的不公正や人種差別をなくすために、医療界は何ができるでしょうか？過去の献血制度(55 頁)についてどう感じましたか？医療の現場でどのような人種差別や社会的不公正を目撃したり、経験したことがありますか？

15. 駆け出しの時期、イリー先生は、ICU で患者が死亡することは失敗を意味すると考えていました。その後、イリー先生の考え方はどのように変化したのでしょうか？患者の死が迫っているとき、あなたは何を目指していますか？患者や患者家族と死について話すことは、どのように役立つのでしょうか？医療チーム内で死と死にゆくことについて話し合うには、どうしたらよいのでしょうか？
16. 本書を通して、イリー先生は言葉の重要性を強調しています。ICU では、患者を生命維持装置から取り外すと決定したときに、「治療の中止(withdraw)」という言葉を使うのをよく耳にします。この言葉をあなたはどのように考えますか？この言葉を聞いた家族はどのように感じるでしょうか？生命維持装置の中止を表現する他の方法にはどのようなものがありますか？どうすればこの文化を変えることができますか？
17. Chapter12 で、イリー先生は、死にゆく患者の希望を探り、その目標に到達するケアを提供するための多くのベストプラクティスを紹介しています。例えば、3つの願いプロジェクトとして、「あなたにとって最も大切なことは何ですか？」「私たちに知っておいてほしいスピリチュアルな価値観はありますか？」と尋ねることが挙げられます。重症患者とその家族をケアする際に、このような提案をあなたのベッドサイドでの診療に取り入れることは、どの程度実現可能なことでしょうか？患者の希望を探り、目標に沿ったケアを提供するために、あなたが使っている様々なツールを教えてください。
18. 多くの医療従事者が、特に新型コロナのパンデミックに関連して、バーンアウト(燃え尽き症候群)を経験しています。イリー先生は、万華鏡を「診断や検査結果、医療機器といった表面的なものを越えて、素晴らしく、彩り豊かで、常に変化し続ける患者の人生に入り込むことを思い出させてくれる」ものとし、バーンアウトを抑えるために使用していることを紹介しています(324 頁)。また、イリー先生は、バーンアウトの解毒剤として、「思いやり」について述べています(325 頁)。あなた自身と患者との関係の中から例を挙げて、なぜ思いやりが医療従事者と患者の両方に役立つと思うのか、話し合ってみてください。あなたがバーンアウトに対処するために使っているツールを教えてください。
19. 集中治療に全人的な取り組みを取り入れるという、やっとのことで達成した進歩が、新型コロナのパンデミックによって後退しました。パンデミック中に ICU で学んだ教訓を挙げて、将来のパンデミックでどのように役立つか話し合ってください。

20. 『深く息をするたびに』は、ICU にはテクノロジーと思いやりを組み合わせる方法があり、「イチジクやスプーンにのったハチミツ、1 曲の音楽」(355 頁)にも役割がある、という希望のメッセージで締めくくられています。イリー先生が集中治療医になったばかりの頃は、患者は何日も深く鎮静されて筋弛緩されていたことと、ジャネット・キース (253 頁)やタイタス・ランシング(268 頁)が A2F バンドルに基づいたケアを受けたことを比べてみてください。ヒューマニズム、思いやり、共感が、ケアや転機に与える影響とは何でしょうか？

https://uploads-ssl.webflow.com/5a56d43d5808f700012d4345/61d8c4fdde23d8211e7f1036_EDDB-Book-Discussion-Guide.pdf